

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

豊里南小学校

児童数

34

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.11	19.00	33.72	36.88	42.28	9.95	127.06	20.59	47.75
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	14.44	20.38	38.31	36.88	35.50	10.14	126.67	10.19	51.27
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子はソフトボール投げ以外は全国・大阪市平均を下回っている。女子は上体起こしと長座体前屈が全国・大阪市平均を上回っているが、それ以外は下回っている。特に立ち幅跳びについては、男女とも平均を大きく下回っており課題となっている。

体力合計点は男女とも全国・大阪市平均を下回り、特に男子は差が大きい。男子については総合評価でA評価が20%近くいるのに対して、D,E評価が50%もいることが、平均値が下がった要因だと考えられる。女子はA評価が0であるが、それ以外は均等に分布している。

「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的に回答する児童は、男子が100%、女子が75%で高い数値になっている。「運動が大切だと思っているか」に対しては、男女とも100%の児童が肯定的に回答しており、全児童が運動の大切さを理解している。それでも女子の25%は運動があまり好きではないと回答しており、大切だとはわかっているがあまり運動をしていないという現状がある。

1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が11.8%で、女子が33.0%である。このうち運動時間が0分と回答しているのが男子は11.8%、女子が12.5%であり、全く運動していない児童が1割以上いることがわかる。普段から運動する習慣のある児童と、全く運動をしない児童の差が大きいことが結果に表れているようである。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は運動場が広く、体育科の授業や休み時間の遊びなど、運動環境には恵まれている。学校の取り組みとして、縄跳び週間やかけ足週間など、全校児童で取り組む体育的行事も実施しており、まじめに取り組んでいる児童が多い。

一方で、基本的な生活習慣が身につけていない児童もおり、そういった児童はどうしても体育科の授業を見学しがちである。さらに、放課後や休日に家庭でゲームをしたり、テレビやYoutubeを見たりしている時間が長く、普段から運動する習慣のない児童が一定数いる。今年度から放課後の運動場を開放し、自由に遊ぶ時間を大幅に確保するようにしたが、まだ一部の児童だけが遊んでいるという現状がある。

質問紙によると、「運動が大切だと思うか」に対して、全ての児童が肯定的に回答しており、運動することの大切さは理解することができている。また、「体育科の授業は楽しいか」に対して肯定的に回答する児童の割合も、男子は100%、女子も93.8%であるため、体を動かすことにはあまり抵抗はないとかがえられるため、体育科の授業においては、しっかりとバランスよく体力や筋力がつくような授業展開を工夫することが大切である。それとともに、基本的な生活習慣を確立し、普段から運動する習慣を身につけることができるような取り組みを行っていく必要がある。